

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間： 平成30年4月1日～ 平成31年3月31日

施設名	高松国分寺ホール		
指定管理者	日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体	施設所管課等	文化芸術振興課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市国分寺町新名430番地	業務の概要	・ホールの使用許可及びその変更の許可、使用許可の取消し並びに使用の停止に関する業務 ・入館の拒否及び退館の命令に関する業務 ・ホール及び設備の維持管理に関する業務 ・ホール利用の促進に関する業務 ・ホールを利用した文化芸術の振興に関する業務 ・その他ホールの設置目的を達成するための事業実施に関する業務
施設の概要	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上2階建 【使用時間】 9～22時 休館日：月曜日、年末年始		

	項目名	平成30年度	平成29年度	項目名	平成30年度	平成29年度
利用状況等	利用者数	32,435 人	35,871 人	ホール稼働率(日別)	75.2 %	63.6 %
	自主事業開催数	50 回	53 回			
	自主事業参加者数	12,140 人	7,430 人			
収支状況等	収入総額	46,116 千円	46,027 千円	支出総額	50,757 千円	44,709 千円
	指定管理料収入	38,357 千円	37,911 千円	精算額(市へ戻入分)	0 千円	0 千円
	施設利用料収入	7,759 千円	8,116 千円		千円	千円

評価基準	評価項目		指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
	①	②		
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理		施設の維持管理には修繕の緊急性、優先性を考慮し管理運営に努め、利用者の安全確保や危機管理体制等を周知し、消防訓練等も実施し安全管理に臨んだ。個人情報保護・法令順守に関する教育、環境配慮を含むコンプライアンス順守に関する試験を計4回実施し、職員への周知を徹底した。	S
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮			
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性		事業計画に基づいた運営を実施し、利用者の公平性、平等性確保に重点を置き、利用者の満足度も向上した。条例等を遵守し、運営マニュアルに基づき、施設利用に対して同じ判断基準のもと平等に利用いただける環境を整備、運用した。	S
	②平等な利用の確保			
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策		ホームページのリニューアル、Instagramの開設により、利用に必要な情報を分かりやすく提供することを通じて、施設の利用促進を図った。またホームページ、SNSでの情報発信だけでなく、市内各所へチラシ等の配布を行うことにより、インターネットを利用しない方への情報発信にも力を入れた。稼働率はUPしているが、利用者数、利用料収入は共に昨年度より減少している。5年の運営を行い、十分に施設の知名度をUPしたと認識しており、文化芸術の振興に力を入れた為、過去5年より情報発信に力を入れていない事が要因であると考え。改善策として、上記記載のHPリニューアル、Instagramの開設を行ったが、巻き返す事が叶わなかった。自主事業においては、5周年イベントの開催も行い、過去最高の12,140名の方に参加いただき、文化芸術の向上に努めた。出演者・講師についても引き続き地元関係者へ積極的に依頼、発表・活動の機会を創出し、地域活性化に貢献した。利用者アンケートを実施し、結果を踏まえてサービス向上及び利用促進の取り組み方を検討した。相談・苦情には責任者を中心に真摯かつ誠実に対応した。	S
	②広報・PR対策			
	③企画事業・自主事業			
	④市・関係団体・地域等との連携			
	⑤サービス向上の取組			
	⑥相談・苦情への対応			
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等		職員の勤務シフトを適切に設定し効率的な人員配置を実現した。施設の繁忙日・時間等を考慮し、翌月の勤務シフトを早期に作成し、適切な休日の確保に努めた。個人情報保護・各種法令遵守にかかる教育や接遇研修の実施、公文協情報交換会への参加、他施設との事例共有等の意見交換会を行うなど、施設活性化に向けた人材育成に取り組んだ。また、社員の意識調査やストレスチェックを行い、結果をもとに改善を行った。運営経費の執行については、本社経理部門との相互チェックにより、基本協定書・事業計画書に基づく適切な予算管理を行った。適切な保険に加入し、利用者・来館者とのトラブルも発生しなかった。	A
	②教育・研修			
	③就業規則等の遵守			
	④施設運営の健全性の確保			
	⑤損害保険等			
	⑥収支計画と執行管理			
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費		利用者の視点に立った設備利用料金を設定するなど、利用料金収入確保に向けたサービス向上の取組みを行った。運営企業本社が経理業務全般をサポートすることにより、ホールにおける作業時間を最適化した。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点			
	③経営の効率化			
	④合理的な会計制度			

総合評価コメント	総合評価
高松国分寺ホール指定管理者として、施設の維持管理・運營業務については、運営マニュアルに基づき、適切に実施できている。また、個人情報保護、コンプライアンス、環境配慮に関する試験を行うなど、職員への周知徹底のための工夫がなされている。 ホールのPRに関しては、HPのリニューアル、Instagramの開設により、より分かりやすい情報提供に努めるとともに、引き続きインターネットを活用しない層を念頭に置いたチラシ配布等、幅広い世代に向けた利用促進対策が行われており評価できる。また、館内に、高松国分寺ホールをはじめ、県内文化施設のチラシ・ポスターを集めてPRするコーナーを設けており、来館を契機として、様々な文化事業に興味を持っていただけるような工夫がなされている。自主事業のアンケート結果において、公演を知ったきっかけに「国分寺ホールのポスター・チラシ」をあげる方が多く、効果的なPRにつながっている。 施設利用料収入や利用者数は減少しているものの、稼働率が大きく向上しており、自主事業参加者数については50周年イベントが奏功し、かなりの増加を見せている。自主事業では、多種多様な魅力的な事業展開を行っており、利用者の満足度も高い。地域との連携については、開館当初より地元の文化団体、コミュニティセンター等と協力をした事業展開を行っている。 これまで同様、地域と密接に連携するとともに、本市西部地域における市民の文化活動の創造・発表、交流の拠点として、ホールのさらなる価値の向上に努めてもらいたい。	A